

一般質問

岩崎字松原地区の国道101号線、路上の電柱等の移設の進捗状況は

答弁：関係機関と協議して移転や撤去を進めているところであるが、多額の費用を要する困難な個所の移転についても、今後とも交渉を続けていく。



堀内栄治議員

《堀内議員》

3月議会で質問した事項について、その後の進捗状況は。

- (1) 東北電力の電柱
- (2) NTTの電柱

- (3) 道路案内標識版の支柱
- (4) 信号機1対

《町長》

8月22日に、県や関係機関による現地での協議結果、道路案内標識版の支柱、東北電力(株)の電柱移転については、来年度、当初予算を確保して実施する考えであることを確認している。

また、信号機の撤去については、既に公安委員会へお願いをしており、撤去した信号機はJRを利用する観光客等の安全が図られるよう、十二湖駅前への移転をお願いしている。
NTTの電柱については、移転に係る費用が多額であることから現状では難しい状況であるが、

町としては、今後も県や関係機関に対して粘り強く交渉していきたいと考えている。

国有林林道の決壊箇所修復の決意を

《堀内議員》

- (1) 大間越地区、入良川林道の路体崩落の修復

《町長》

入良川林道の現況については、入口から1・9キロメートルまでは通行可能であるが、その先の区間は、路面の崩落や落石のため通行止めとなっている。

《堀内議員》

- (2) 大間越地区、津梅川林道の路体崩落の修復

《町長》

津梅川林道の現況については、国道沿いから2・7キロメートル付近で津梅川の岸の浸食によ

る路体の一部決壊により通行不能状況である。

西路線とも復旧には多額の工費を要することから、早期の修復は困難な状況にあるが、津軽森林管理署には機会がある都度要望するとともに、陳情についても継続していきたいと考えている。

《堀内議員》

- (3) 岩崎地区、泥の沢林道大型暗渠の流出箇所2か所の修復

《町長》

泥の沢林道大型暗渠の流出については、平成25年、26年の降雨災害により数箇所での決壊や落石、大型暗渠の流出により通行止めとなつて以来、管理がされていない状況で、全路線にわたり通行不能となっている。

該箇所一帯は、地域住民が国有林野の林産物採取を可能にしている普通共有林野の設定をしていることから、災害復旧

に向けて津軽森林管理署を通して東北森林管理局へ陳情したいと考えている。

岩崎から長慶平に通じる町道のカーブの改良について

《堀内議員》

カーブの改良について、町の対応は。

《町長》

当該道路(町道仁瀬線)のカーブ改良については、平成26年度に測量設計業務を行った結果、当時で1000万円近い工費が算出された。

町道管理担当課では、他の路線と比較し生活道としては利用度が低い路線であるとの判断から、早急に改良を要する路線と捉えてこなかった状況であるが、改良について前向きに検討していきたいと思う。



▲改良を検討するカーブ(町道仁瀬線)